

ムンジユル節

(二揚げ)

ひらがさ ちゅ
1. むんじゅる平笠美らむぬや
みやらび まづいち ちゅ
美童真頂にちいいしてい(美らむぬや)

はなずみていさじ めー むすい
花染手拭や前に結でい

にせ ふ はなずみ
二才惚らしむぬ(花染よー)

ているちな ふいら
2. 照喜名坂からようをうなよ

ひらがさ ちはぬく
むんじゅる平笠かぶるなよ(津波古ぬ)

ちはぬく しゅ めー
津波古ぬ主ぬ前が

ふちはぬく
な惚りゆんどー(津波古ぬ)

んむ んま とー
3. 芋ぬ美味さや唐かんだ

くみ んま め みち ついく
米ぬ美味さやあかち米(神酒造ていぬ)

みち ついく んま
神酒造ていぬ美味さや

しら とー みち ついく
白ふえー唐かんだ(神酒造ていぬ)

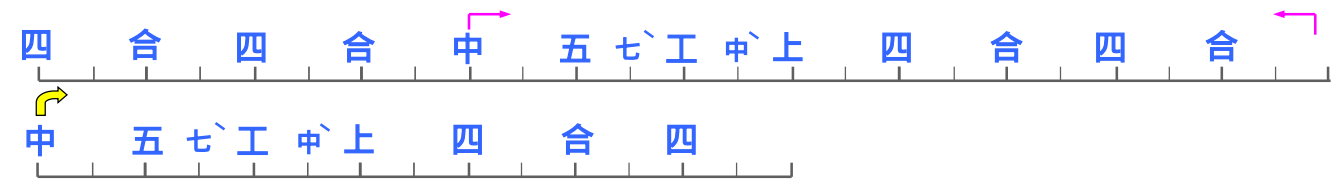
ムンジユルで作られた平笠は美しい
娘の頭にちょんとのせて
花染め手拭を前結びにして
青年たちをとりこにしている

照喜名坂を通るときは、妹よ、
ムンジユル笠はかぶらないで
役人の津波古が惚れ込んだら大変だから

芋でおいしいのは唐産の芋
米でおいしいのはあかち米(陸稲)
神酒を造っておいしいのは
白い唐産の芋

舞踊「ムンジユルー」の一節 (早作田節・ムンジユル節・芋ぬ葉節・赤山節・月ぬ夜節)

「ムンジユル」は麦ガラで作った日よけ笠のこと。粟国島発祥の歌。



中 五 七 工 中 上 四 合 四

むんじゅるふいらが七五中らあちむらあむ中上ぬうや
 ているちなふいらがさらあちよらああむをうぬうあんうあだ
 んんむぬんまかさやあとおおかあなんん

合 四 合 中 五 工 中 上 四 合 四 合 中

みむくやんうらあびいうまついぢがにさち
 むくううみいぬうんまざやさあ

五 工 中 上 四 合 中 工 五 四 合 四 中

いぶあいるかあしなあていあちむらむぬやあぬ
 あかあちいよめみちつくていぬ

七 五 中 五 工 中 上 四 合 四 合 中 五 四

みぬくうていさあじいやああめあぬい
 ううていあういぬうううううう

合 四 合 四 合 中 五 工 中 上 四 合 中

にならせうへちふふらあいしむうぬはなみ
 しらすへちとらあゆうんんだちないみ

工 五 四 合 四 合

よくおぬていぬ

1. むんじゅる平笠美らむぬや 美童真頂にちいいしてい(美らむぬや) 花染手拭や前に結てい 二才惚らしむぬ(花染よー)
2. 照喜名坂からようをうなよ むんじゅる平笠かぶるなよ(津波古ぬ) 津波古ぬ主ぬ前が な惚りゆんどー(津波古ぬ)
3. 芋ぬ美味さや唐かんだ 米ぬ美味さやあかち米(神酒造ていぬ) 神酒造ていぬ美味さや 白ふえー唐かんだ(神酒造ていぬ)